

# 耐震強度偽装で警視庁

# 木村社長ら7人も

# 住民「全容解明を」



藤田東吾容疑者



篠塚明容疑者



木村盛好容疑者

耐震強度偽装事件の「主役」が一齐に逮捕された二十六日。元建築士、姉齒秀次容疑者(48)は表情を変えず淡々とした様子で合同捜査本部に向かった。「真相解明につながることは捜査の進展に期待する声が相次いだ。

姉齒容疑者を乗せた銀色のワンボックスカーが、合同捜査本部のある警視庁築地署に到着したのは午前八時四十五分ごろ。署の周辺に待機した約百人の報道陣が車を取り囲んだ。

後部座席の姉齒容疑者は黒っぽいつば付きの帽子に黒っぽい上着姿。左手を上げて耳を覆うようなしぐさを見せたが、表情を変えることなく正面を見据えたままだった。

午前五時すぎ、熊本県八代市の自宅周辺に散歩に出掛けた木村建設元東京支店長の篠塚明容疑者(45)。報道陣から「マン

ション住民に言いたいことがあるか」と質問されたが、何も答えずいらだった様子も。退去を余儀なくされたマンション住民は捜査の行方を見守る。姉齒容疑者が最初に構造計算書を偽造したとされるグラン

ドステージ池上(東京都大田区)の管理組合の男性理事(56)は「耐震偽装の全容を解明し、法制度や業界全体のシステムを改善してほしい。賠償が望めない以上、そこまでやらないと意味はない」と話した。

## 姉齒元建築士による偽装が確認された物件

